

令和 7 年度
(第 14 期)
事業計画書

令和 7 年 4 月 1 日から
令和 8 年 3 月 31 日まで

公益財団法人 林レオロジー記念財団
令和7年度(第 14 期)事業計画書

本財団は、わが国の食料品製造機械産業における研究開発を支援するための助成事業、人材育成事業等を行い、日本の食品産業の育成に寄与すること、並びに各国、地域独自の食文化の発展・再興・普及の促進に寄与することを目的とした活動を行う。

【公益目的事業費】

1 奨学金給付事業

本事業は財団の目的を理解し、食品産業の学術研究において将来の発展が期待できる大学院生、大学生、専門学校生を対象に奨学金給付事業を行う。

令和7年度の応募者総数〔令和7年度給付予定〕は 136 名で、大学院生が 98 名(内訳:2年生 41 名, 1年生 57 名), 大学生が 35 名(内訳:4年生 19 名, 3年生 16 名), 専門学校生が3名であった。「奨学生選考規定」に基づき 88 名の奨学生を決定した。

なお、昨年度からの継続奨学生 29 名の2年目の学生にも奨学金を給付する。

No.	予算の内容	予算額 (千円)	令和7年度 給付分(千円)
(1)	大学院2年生:月額5万円を1年間, 24 名に給付する。	14,400	14,400
(2)	大学院1年生:月額5万円を2年間, 39 名に給付する。	46,800	23,400
(3)	大学4年生:月額3万円を1年間, 11 名に給付する。	3,960	3,960
(4)	大学3年生:月額3万円を2年間, 11 名に給付する。	7,920	3,960
(5)	専門学校生:月額3万円を1年間, 3 名に支給する。	1,080	1,080
令和6年度採用奨学生の奨学金給付予算(88 名) 小計		74,160	46,800
(6)	大学院2年生:月額5万円を令和6年度からの継続奨学生 25 名に1年間給付する。	15,000	15,000
(7)	大学4年生:月額3万円を令和3年度からの継続奨学生 4名に1年間給付する。	1,440	1,440
令和6年度採用奨学生2年目奨学金給付予算(29 名) 小計		16,440	16,440
奨学金給付予算(117 名) 合計		90,600	63,240
(8)	その他公益目的事業に必要な費用	11,715	11,715
公益目的事業費 合計		102,315	74,955

※令和7年度に新規に採用する奨学生は 88 名, 令和6年度からの継続採用奨学生 29 名で, 合計 117 名の奨学生に奨学金を給付する。

本事業の予算総額は、確定した予算にて奨学生を採用するために積立てた特定費用準備資金を基本に、事業計画を立案した。

2 令和7年度の特定費用準備資金の取崩し額

奨学金給付事業に関する特定費用準備資金の取崩し額は、
奨学給付金安定運用資金(2018 年度 3 月期～2024 年度 3 月期)6,000 千円
奨学給付金積立資金 次年度採用分より 35,000 千円を取崩し奨学金として給付する。
令和7年3月末日付で、「令和6年度 奨学給付金積立資金(2年目給付)2024 年度」として積立てた 16,440 千円を全額取崩し、奨学金として給付する。
また、奨学給付金安定運用資金(奨学生交流会費)より 5,000 千円を取崩し交流会開催費用として充当する。
取崩し額合計は、62,440 千円とする。

3 令和7年度の特定費用準備資金の積立額

奨学金給付事業が継続的かつ、円滑に維持運用ができるように、奨学給付金安定運用資金 2025 年度3月期～2034 年度3月期として 24,500 千円と令和7年度から令和8年度までの2年間給付奨学生の令和7年度の2年目給付分奨学金 27,360 千円を「令和7年度 奨学給付金積立資金(2年目給付)2025 年度3月期」として、奨学給付金積立資金(次年度採用分)として 60,000 千円を積立てる。
また、奨学給付金安定運用資金(奨学生交流会費)に 5,000 千円を積立る。
積立金合計は 116,860 千円とする。